

2026 年 10 月 1 日

各 位

会 社 名	株式会社ファンドライズ
代表者名	代表取締役 清道 亮
問合せ先	コーポレート本部 (TEL. 03-6820-4959)

経営基盤の強化に向けた組織体制の変更、取締役会設置および増資に関するお知らせ

株式会社ファンドライズ（本社：東京都新宿区、代表取締役：清道 亮、以下「当社」）は、2026 年 10 月 1 日付で、経営基盤およびガバナンス体制の強化を目的として、組織体制の変更、取締役会の設置ならびに増資を実施いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

当社はこれまで、事業承継 M&A を軸に事業規模を拡大し、現在はグループ 5 社・従業員約 130 名の体制へと成長してまいりました。今後さらなるグループ企業の増加および事業領域の拡大を見据え、個社単位の経営からグループ全体を統括・管理する経営体制への移行を加速するため、組織・ガバナンス・財務基盤を一体的に整備することといたしました。

記

1. 組織体制の変更

(1) 目的

事業規模の拡大およびグループ企業数の増加に対応するため、経営管理機能と事業推進機能を明確に分離し、グループ各社との連携を強化する組織体制へ移行いたしました。

(2) 主な変更内容

- 管理部門として「コーポレート本部」（経営企画部・経理部・人事部・総務部）を設置
- 事業部門として「事業投資本部」（事業承継 M&A 部・リユース事業部・不動産事業部）を設置
- 経営の適正性を確保するため「内部監査室」を新設

(3) 新組織体制

※ 別紙「組織図」をご参照ください。

(4) 実施日

2026 年 10 月 1 日

2. 取締役会の設置

(1) 目的

事業規模およびグループ企業数の拡大に伴い、経営における意思決定プロセスをより明確化するとともに、業務執行に対する監督機能を強化することを目的として、取締役会を設置いたしました。取締役会において重要な経営事項について審議・決定することで、経営の透明性および意思決定の実効性を高め、持続的な企業価値の向上につなげてまいります。

(2) 取締役会の構成

役職	氏名	備考	略歴
代表取締役	清道 亮	現任	—
取締役	山崎 萌	新任・管理部門管掌	慶應義塾大学商学部卒。2007 年、株式会社三菱 UFJ 銀行に入行。都内支店にて中小・中堅企業向けの法人営業に従事した後、本部にて経営企画・管理、ストラクチャードファイナンス、内部監査など幅広い業務に携わる。2024 年、当社に参画し、100%子会社である株式会社中村アクセサリー商会の経営全般を担当。2026 年 10 月、取締役に就任。
取締役	江口 真一	新任・事業部門管掌	近畿大学法学部卒。2010 年、学校法人近畿大学に入職。病院運営や入試関連部署にて組織マネジメント等に従事。2018 年、グロービス経営大学院修了（MBA 取得）。2023 年、株式会社日本 M&A センターに入社し、医療・介護業界における事業承継・成長戦略の実現を支援。2026 年、当社に参画し、100%子会社である明光産業株式会社の経営全般を担当。2026 年 10 月、取締役に就任。
監査役	筒井 康司	新任	一橋大学商学部卒。2013 年、株式会社三菱 UFJ 銀行に入行。中小・中堅企業から大企業まで幅広い法人営業を担当。2023 年、株式会社エンラージメントを創業し、事業開発・財務戦略・資金調達等を支援。2024 年、当社に参画。2026 年 10 月、監査役に就任。

(3) 実施日

2026 年 10 月 1 日

3. 増資の概要

(1) 目的

当社は、経営基盤の強化および今後の事業成長に向けた財務基盤の充実を目的として、2026 年 10 月 1 日付で資本金を増額いたしました。今回の資本金の増額は、利益剰余金の資本組入れによるものであり、新たな外部からの資金調達を伴うものではありません。

(2) 増資の内容

項目	内容
増資後の資本金	1 億円
増資前の資本金	3,000 万円
増資額	7,000 万円
増資方法	利益剰余金の資本組入れ
効力発生日	2026 年 10 月 1 日

(3) 資金使途

当社は、今回の資本金の増額を含む財務基盤の強化を踏まえ、今後の事業承継 M&A 案件の推進、グループ会社の成長支援、経営管理体制の強化等を進め、グループ全体の持続的な成長につなげてまいります。

4. 今後の展望

当社は、「日本を動かす、エンジンへ。」をミッションに掲げ、「中堅・中小企業群という新たなカタチで成長を創り、次世代へつなぐ。」ことをビジョンとしております。

今後、事業承継 M&A を通じて優れた事業や企業文化を次世代へ承継するとともに、各グループ会社が有する経営資源やノウハウを活用し、グループ全体としての持続的な成長を目指してまいります。

今回の組織体制の変更、取締役会の設置および資本金の増額を通じて、経営管理・ガバナンス・財務基盤を一体的に強化し、個社単位の経営からグループ経営への移行をさらに推進してまいります。

当社は、今後も経営の透明性および実効性の向上に努め、持続的な企業価値の向上と、中堅・中小企業群という新たなカタチの創出に取り組んでまいります。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以上

